

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成20年12月8日		
		作成部署	建設交通部 河川課		
事業名	煤谷川 広域基幹河川改修事業 住宅市街地盤整備事業		地区名	精華町菱田地内～精華町旭地内	
概算事業費	210億円		事業期間	昭和62年度～平成40年度	
事業概要	近年流域の上流部で関西文化学術研究都市開発が進展しているほか、下流部においても土地区画整備等による一層の都市機能の集積が見込まれることから、河道拡幅、河道掘削等による改修を行う。(L=3.650m)				
目指すべき環境像	流域が持つ歴史や文化、景観、自然環境を保全し、地域の特色を活かした良好な河川環境の整備を図る。				
関連する公共事業	直轄河川改修事業(木津川)				
評価項目		施工地の環境特性と目標		環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点		選定要否			
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	—	特に貴重な動植物は確認されていないが、木津川との合流部周辺では樹木が茂り河川周辺では時折野鳥の飛来が見られる。また河床の深みにはカメやフナ等の生物が見られる。改修にあたっては、動植物の生息環境の保全に努める。	改修後も動植物の生息、生育の場としての良好な自然環境を保全できるように、河床の改修による元来の落差工における魚道の設置等、現状の自然環境を保全し、生態系に影響を抑えるよう配慮した整備を行う。	—
	地形・地質	○			3
	物質循環(土砂移動)	○			3
	野生生物・絶滅危惧種	—			—
	生態系	○			3
	その他	—			—
生活環境	ユニバーサルデザイン	—	煤谷川は下流部では市街地を貫流しており、改修は工事の実施にあたっては地域の生活環境の保全に配慮する。	低騒音・低震動型の施工機械を採用し、土砂運搬の縮減等により、騒音・震動、粉塵等の発生に十分留意する。	—
	水環境・水循環	—			—
	大気環境	—			—
	土壌・地盤環境	—			—
	騒音・振動	○			3
	廃棄物・リサイクル	○			3
	化学物質・粉じん等	—			—
	電磁波・電波・日照	—			—
その他(安全・防犯)	○	4			
地域個性・文化環境	景観	○	煤谷川は市街地内の貴重な水辺空間であり、地域の景観形成や文化の醸成に資する施設整備を検討する。	木津川合流部付近では木津川の堤防を活用した自らの整備による高水敷の整備と、環境整備に合わせた管理用道路等を活用した地域の文化遺産のネットワーキングや地域行事や学習の場としての施設整備を検討する。	4
	里山の保全	—			—
	地域の文化資産	—			—
	伝統的行祭事	—			—
	地域住民との協働	○			4
	その他	—			—